

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2022No.188】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：ベートーヴェン

曲： ピアノソナタ 8 番ハ短調「悲愴」他

演奏： ヴァレリー・アフアナシエフ

発売：SONY

No. : SICC 40079

概要：



[堀米ゆず子とヴァレリー・アフアナシエフのデュオコンサート](#)で求めてきた盤です。

収録曲は以下のとおりです。

ベートーヴェン

ピアノソナタ 8 番ハ短調「悲愴」

ピアノソナタ 14 番嬰ハ短調「月光」

ピアノソナタ 23 番ハ短調「熱情」

演奏

ヴァレリー・アフアナシエフ (ピアノ)

ネット上の解説は以下のとおりです。

「ピアノ界きっての個性派アフアナシエフによるベートーヴェン三大ソナタ。

ベートーヴェンはアフアナシエフにとって、師ギレリスから薫陶を受け、シューベルトやバッハとならぶ重要なレパートリーであり、「最後の3つのソナタ」など一部の

作品の演奏や録音には積極的に取り組んできましたが、この最も人口に膾炙した3曲はこのアルバムの録音まで人前で演奏したことさえありませんでした。

「自分が最高の演奏ができる」という強い確信を持つまで、新しい作品をレパートリーに加えないアフアナシエフが、68歳にして生涯初めて取り組んだこの名ソナタ3曲。トータルで75分58秒にもものぼるゆっくりしたテンポの中で繰り広げられる個性的なアフアナシエフ・ワールドをご堪能ください。」

SONYの極(きわみ)HiFiCDという触れ込みですので、音質にも関心があります。

<https://www.sonymusicshop.jp/m/pageShw.php?site=S&cd=hificd001>

EMT981には、電解コンデンサーを連結した仮想アース Crystal EpYを接続していません。

流石に熱情ではテンポが速まりますが、上記のとおり全般的にはゆったりしたテンポで、お馴染みのベートーヴェンの音楽を噛み締めるように熟練の技を見るような演奏です。

音質も仮想アースの助けもあって、上記サイトの極(きわみ)HiFiCDの説明にあるように、まるで眼前で演奏しているかのような印象で、余韻も忠実に表現されており、曲目は違いますが、演奏会の印象が再現されています。

以上